

みなさんの声を市政に届けます

①子育てを応援するまちに

- 保育園を増設し待機児童をなくします。
- 小中学校の給食費・教材費を無料にします。
- 子ども医療費助成を18歳まで拡大します。
- 返済不要な給付制の奨学金制度を創設します。

②高齢者を大切にするまちに

- 介護保険料・利用料を引き下げます。
- 特養ホームを増設し年金で入れるようにします。
- バス・タクシー運賃を助成し外出を支援します。
- 知識や技能が生かせる場を拡充します。

③安全でだれもが住みよいまちに

- 水害の解消、住宅耐震工事助成の拡充、自然エネルギーの普及など、防災対策を進めます。
- 歩行者・自転車安全に通行できる生活道路の整備を進めます。
- 公園、スポーツ施設、駅前駐輪場を増設します。
- 障害者や難病患者への支援を拡充します。
- 音楽専用ホールを作り、文化活動を支援します。
- 自衛隊機による飛行訓練の中止を求めます。

財源はあります

- 財政力は全国の中核市42市中第5位
- 福祉を削ってため込んだ積立金261億円
(市政史上最高額。県内ダントツ)

憲法9条への感動が原点



小学生の時、初めて日本国憲法9条を読み、「日本とはなんという素晴らしい国か」と感動しました。

この憲法を踏みにじって、米軍と一緒に海外で戦争する国にする——安倍自公政権がすすめる憲法破壊の動きに身体をはって立ち向かうことは、平和憲法を感動をもって受けとめた、子どもの頃の自分自身に対する責任でもあると考えています。

19歳の時日本共産党員に



大学で知的障害児と関わる活動に取り組んでいた先輩と出会いました。障害児の成長に寄り添う中で得たものを、とつとつと語ってくれました。高い人間性に心を打たれたその先輩は日本共産党員でした。

誰もが生き生きと暮らせる社会をめざして草の根で頑張る党——日本共産党がそういう政党であることを知り、19歳の時に入党しました。

一緒に頑張ります



日本共産党県議会議員(5期)

丸山慎一

まるやま・しんいち=1955年東京中野区生まれ。千葉大理学部卒。大学では教養部自治会執行委員長を務める。日本民主青年同盟中部地区委員長を経て、日本共産党専従職員に。志位和夫衆議院議員事務所長・秘書を歴任。97年、定数1の県議補欠選挙で初当選。現在5期目。



2015年3月号外 発行 日本共産党船橋市委員会
船橋市二和東6-41-20 TEL047-431-4527
日本共産党船橋市委員会の見解を紹介します。



みなさんと力を合わせ
要望を実現する議席

日本共産党市議会議員(2期)

中沢学

なかざわ・まなぶ=1968(S43)年新潟県生まれ/46歳/92年埼玉大経済学部卒/富士通勤務(システムエンジニア)/95年日本共産党職員に/2007年市議初当選/11年再選/2期目/市議会市民環境経済委員/小中高バスケットボール/現在市内草サッカーチーム所属/妻、1男(中1)、1女(小4)



ごあいさつ

2007年に初めて市議会に送り出していただいてから、2期8年間、市民の声を議会に届け、行政を一步、二歩と前に動かす仕事に全力で取り組んできました。この間みなさんのご支援に

<生活相談を担当する地域>

習志野、三山、田喜野井、薬円台、薬園台町、七林町、滝台1丁目、前原東、前原西(8丁目を除く)、中野木、駿河台2丁目

